

ピーマン

栽培のポイント

① 暖かくなってから植え付けましょう

ピーマンは高温性で、育苗時から定植後にかけて低温にあうと、育ちが悪くなります。植え付けは暖かくなってからにしましょう。植え付け直後の低温期には、ビニールトンネルで覆ったり、底を切った肥料袋やごみ袋などをかぶせて保温するなど対策をとりましょう。

② 支柱を立てて枝折れを防ぐ

枝が細いので風に弱く、果実がたくさんつくと枝折れしやすくなります。入念に支柱を立て、収穫の時はハサミを使い、枝を折らないように注意しましょう。

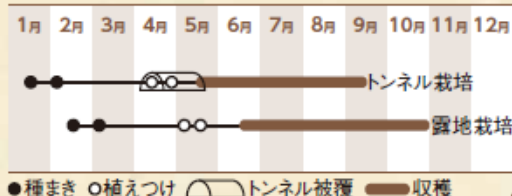
③ 病害虫に注意

アブラムシ・ヨトウムシ・タバコガなどの害虫が付きやすいので、防除を徹底しましょう。病害予防として、抵抗性の品種を選ぶのも効果的です。



品種
・ぶちピー
・京みどり

栽培カレンダー



1 苗づくり

●自家育苗する場合

育苗箱に4~5mm間隔に条まきする



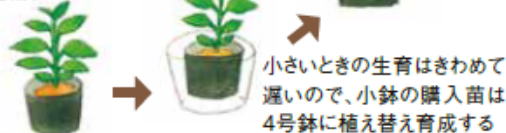
本葉1枚のころ4号のポリ鉢に移植する

定植時の苗の姿

1~2花開花するまで育苗し、大苗にして十分暖かくなってから畑に植え出すのがよい

●購入苗の場合

新しい用土を補う



小さいときの生育はきわめて遅いので、小鉢の購入苗は4号鉢に植え替え育成する

苗床をトンネルで保温する場合、日中35℃以上に温度を上げないように換気する

[発芽]28~30℃ [生育]地温22~25℃/気温15~30℃

2 元肥入れ

〈溝の長さ1m当たり〉
油粕:大さじ7杯
堆肥:3~4握り
化成肥料:大さじ5杯



3 植え付け



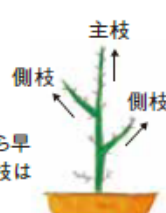
マルチをする前に十分水をやっておく

植え付けの2~3日前から畝に十分水をやり、ポリフィルムを畝の全面に覆って、土を温めておく



かみそりで十文字に切り目を入れる

4 整枝・支柱立て



下の方から早く出た側枝はかき取る

3本整枝の仕上がり図

生育が進むにつれて支柱を増やし、枝を固定する



ナスと同じく主枝+側枝+側枝の3本立てにする
ピーマンは枝が弱く、風で折れやすいので、支柱立ては早めに

●誘引
茎が太れるようにゆとりをもたせて8の字に縛る

5 追肥

●第1回 植え付け10日後
(1株当たり)
油粕:2~3つまみ

●第2回 第1回から20日後
(1株当たり)
化成肥料:大さじ1杯
油粕:大さじ1杯

株元から10cmくらい離して施す

●第3回 第2回から20日後
第2回と同量を同様に施す。ポリマルチをめくって施し、畝で通路の土をやわらげて畝に寄せ上げる

6 収穫

たくさんなりすぎて草勢が弱ったときは、若どりをして回復させる

